

「学内で地域医療の体験ができる」課外授業シリーズ 2026 第三弾！を実施しました。

2026年6月26日（金）18時00分から「学内で地域医療の体験ができる」課外授業シリーズ 2026 第三弾！を実施しました。

今回は、おうみ在宅クリニック 院長 鎌田泰之先生、富田クリニック 理事長 富田一聖先生をお招きし、ご講演いただきました。

当日は学部生13名、教職員6名の合計19名の参加がありました。

初めに鎌田先生から『これからの地域医療の担い手に向けて』をテーマにご講演いただきました。

どういったキャリアを積んでいくのがいいか悩んでいる学生に対し、在宅医療に携わっているからこそ見えてきた地域医療の在り方についてお話いただきました。地域医療は、医療機関だけでは解決できない問題を、家族を含め地域で診ていくことであり、患者さんの身体を引き受ける覚悟があるかどうかであることと教えていただきました。

また、医師の目的は患者さんの苦痛を取り除くことであり、患者さんへの貢献を最大化できるのか？と考えると自然とキャリアは決まるので、医師の目的を再確認し、地域医療を目指してくださいと、キャリアに関する悩みが解消できるようにお話いただきました。

続いて富田先生から『外科医と内科医が見つけた地域医療の輪郭ードクターカフェの取り組みを中心にー』をテーマにご講演いただきました。

研修医時代に感じた病院嫌いの人へのアプローチとして「ドクターカフェ」を開設され、座学をお話されながら、気軽に立ち寄れる健康相談の場所として地域の方が身体のことを身近に感じてもらう大事さをお話いただきました。

居場所作りのポイントや、人との繋がり方、キャリアの作り方などを教えていただきながら、自分の知識はいずれ人の役に立つと思いながら頑張ってもらいたいとお話いただきました。

参加学生からは「自分の将来や今自分ができることについて改めて考え直すきっかけとなりました。」「色々なことに取り組みたい、挑戦してみたいと思えるような内容ばかりで、参加して良かったと強く思いました。」といった感想があり、本講演は盛況のうちに終了しました。



（この講演は 医学・看護学教育センター、滋賀県医師キャリアサポートセンター、NPO 法人 滋賀医療人育成協力機構との共催で実施しました）